

防災協だより

【発行所】(社)神奈川県高圧ガス防災協議会
 横浜市中区北仲通4-40 (商工中金横浜ビル3階) 電話045-212-1454
 【編集責任者】企画部会長 河原 俊治
<http://www.kanagawa-bousai-hpg.or.jp>

本年より、10月号の記事に『会員事業所紹介』を2事業所単位で掲載することになりました、ご愛読よろしくお願いたします。

県内6地区で開催の平成24年度講習会及び連絡会議の概要

防災協議会では、高圧ガス移動途上における事故発生及び災害拡大の防止を目的に、関係行政機関と防災事業所間の連携強化、情報の共有化を図るための『県・警察・消防・防災事業所連絡会議』及び高圧ガス運送事故の未然防止に向けた、運送員・指導員の保安講習を実施しております。既に連絡会議については、予定した会場での会議が全て終了し、また講習会についても4会場が完了しましたので、地域別の参加者数、受講者数等について触れておきます。



〔県・警察・消防・防災事業所連絡会議〕

地区	開催日	会場	会場				計
			事業所	県関係	警察関係	消防関係	
川崎	6/21	川崎県税事務所	8	3	8	7	26
湘南	6/29	平塚市民センター	5	1	7	11	24
横・三	7/03	横須賀市文化会館	6	1	6	11	24
横浜	7/11	かながわ県民センター	17	4	22	16	59
西湘	7/19	小田原市民会館	9	2	2	5	18
県央	7/26	相模原市民会館	13	8	11	13	45
会場			58	19	56	63	196

参加者の総数では昨年比15名程度上まわったものの、事業所からの参加者は若干下回りました。

〔講習会開催：運送指導員、運送員〕

地区	開催日	会場名	講習名	回	受講者数 (H24年度)			昨年度		
					更新	新規	計	更新	新規	計
県央	7/13	厚木市文化会館	指導員	1	268	62	330	291	53	344
			運送員	1			282			237
横・三	8/02	横須賀市文化会館	指導員	2	99	34	133	64	22	86
			運送員	2			109			67
横浜	8/29	神奈川公会堂	指導員	3	371	117	488	298	57	355
			運送員	3			415			211
県西	9/25	小田原市生涯学習センター	運送員	4			152		176	
川崎	10/11	サンワークかながわ	運送員	5			162		124	
湘南	10/30	茅ヶ崎市民文化センター	指導員	4	133	30	155	196	32	228
			運送員	6			146			177
横浜	11/28	鶴見公会堂	指導員	5	74	18	92	155	65	220
			運送員	7			146			356
					938	260	2,610	1,004	299	2,580

10月11日 (川崎会場) 以下3会場の受講者数は、10月5日現在の受講予定者数です。

第27回 関東高圧ガス保安大会（平成24年度）

関東東北産業保安監督部管轄下（1都10県）の高圧ガス防災団体が組織する、関東高圧ガス保安団体連合会の総会及び保安大会が7月27日（金）ホテルアジュール竹芝（東京都港区）で開催されました。

大会での監督部長表彰及び連合会長表彰については、残念ながら当協議会からの該当受賞者はありませんでした。また、大会では日本大学理学部教授による特別講演『宇宙エレベーター（人類最大の建造物を作る）』と題し講演がありました。

平成24年度神奈川県環境保全功労者・工業保安功労者表彰式 （局長、センター所長表彰）

7月26日（木）神奈川県庁新庁舎のゆり会議室において、平成24年度神奈川県環境保全功労者・工業保安功労者表彰式が行われ、(株)エネックス関東支店川崎営業所が高圧ガス保安功労者として、神奈川県安全防災局長より表彰を受けられました。



10月～11月の行事予定

部会研修見学会の開催

本年度は、埼玉県・埼玉県高圧ガス連合会・埼玉県高圧ガス地域防災協議会主催の、『高圧ガス防災訓練』を中心に地元企業及び富岡製糸場並びに足利学校を見学コースとして予定しております。

研修会実施日：平成24年10月18日（木）～19日（金）※訓練見学日 10月18日

訓練開催場所：埼玉県坂戸、鶴ヶ島下水道組合石井処理センター（埼玉県坂戸市石井1336-1）

第40回（平成24年度）神奈川県高圧ガス地震防災緊急措置訓練の実施について

神奈川県内を6地区に分けて順番に実施する『神奈川県高圧ガス地震防災緊急措置訓練』は、本年度は横須賀・三浦地域の久里浜港で実施されます。

訓練では、昨年発生した東日本大震災における甚大な被害を目の当たりにして、地震での被害を最小限に抑えるための方策・手段について、各方面で検討・取り組みが進んでおり、当防災訓練では、取扱い事業所の地震防災意識の高揚と防災体制の検証及び関係機関との連携強化の充実を図ることを前提に実施します。会員の皆さんも訓練を見学し、事業所の防災活動に役立ててください。

日時：平成24年10月24日（水）午後1時より3時30分

会場：久里浜港（横須賀市久里浜） ※京浜久里浜駅より東京湾フェリー乗り場行きバスで終点まで。

第7回（平成24年度）神奈川県高圧ガス火薬類保安大会の開催

11月8日（木）14時より神奈川県立県民ホール（小ホール）において、第7回神奈川県高圧ガス火薬類保安大会が開催されます。保安大会での保安功労表彰式（知事並びに会長）のほか、大会終了後の特別講演、懇親会も予定されておりますので、是非ご参加ください。

【特別講演】 東洋大学経営学部教授 石井 晴夫 氏

“日本を取り巻く今後のエネルギー政策のあり方”

新事務所紹介

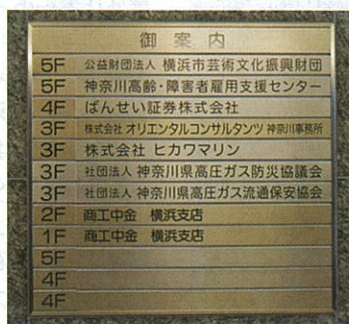
事務所移転に伴い、定款に記載の事務所所在地を中区海岸通2-8から中区北仲通4-40に定款変更するため、臨時理事会及び臨時総会が開催されましたが、全員一致で可決・承認されました。

〔臨時理事会〕 6月22日（金）午前10時00分より 波止場会館 三階会議室

〔臨時総会〕 7月24日（火）午後1時30分より 波止場会館 三階会議室

なお、定款変更の可決・承認をうけて、定款変更認可申請（県知事宛）及び事務所移転登記申請（法務局）の手続きを行い、事務所移転登記等のすべてが完了しました。

お近くにお越しの際は、是非事務所にお立ち寄りください。



事務局からのお知らせ・お願い

臨時総会の開催について

本年度は、既に事務所移転に伴う定款変更での臨時総会を7月に開催したところですが、当協議会では皆様もご承知のとおり公益社団法人への移行に向け準備作業を進めており、平成23年5月の通常総会では『公益社団法人神奈川県高圧ガス防災協議会定款（案）』を提案し承認をいただいております。

しかしながらその後の作業において、承認いただいております定款の一部について変更及び追加等の必要が生じたため、定款の変更について承認を求めることの臨時総会を開催いたします。

日時 平成24年10月29日（月）午後2時30分より

場所 波止場会館 4階大会議室（横浜市中区海岸通1-1）

高圧ガス移動監視者講習受講者を受付け中です

平成24年度の第3回及び第4回高圧ガス移動監視者講習会を神奈川県において高圧ガス防災協議会が実施します。既に第3回受講者を受付けておりますので、受講をご希望の方で案内書等が必要な方は事務局までお問合せください。

【講習・検定の実施予定】

第3回 講習（平成24年11月14日（水）、15日（木）の両日）、検定（11月30日（金））

第4回 講習（平成25年1月31日（木）、2月1日（金）の両日）、検定（平成25年2月14日（木））

防災事業所ミニ訓練の実施予定及び自主訓練結果報告の提出について

連絡会議でもご案内のとおり、平成24年度ミニ防災訓練実施予定について（平成25年2月）、訓練実施内容（概要）と実施日を12月10日（機関紙「新年号」に掲載のため）までに事務局に提出ください。ただし、2月1日、14日、27日、28日の4日間を避けてください。

また、ミニ防災訓練実施事業所以外の防災事業所については、実施月を限定いたしませんので24年度中に訓練を実施し、速やかに「訓練実施報告書」を事務局へ提出してください。

会員事業所紹介

極東運輸株式会社

副社長 小谷 哲雄



当社は、高圧ガスの運輸部門のほかタンクローリー検査所部門を擁しており、このたびの事業所紹介では、平成21年7月に営業を開始した『タンクローリー容器検査所』について紹介いたします。

当社がタンクローリー容器検査所を開設する以前の容器再検査等は、三菱プラント工業(株)がその業務を担っておりましたが、本事業所が川崎市殿町から工場移転することとなり、それに伴い当該事業についても撤退することとなりました。しかし、長期に亘り容器再検査等を委ねていた県内LP輸送業界にとって、『大変な事態に陥った』ことへの認識が強いことから、川崎地区LP出荷基地に近接し立地条件が整っている当社の敷地内にタンクローリー検査所を設置し、容器検査事業を展開することとなりました。



検査所の体制は、三菱プラント工業(株)の技術者3名と新人2名を新規採用し、検査所所長を含

め6名体制でタンクローリーの容器検査所業務を開始しました。特にタンクローリー再検査は、LPガス輸送の閑散期(5月～10月)に検査が集中するため、状況に見合った検査工程や労働時間等の調整により、顧客に満足いただける方策に努めています。また検査技術においては、前事業所から採用のキャリア20年以上の技術者を迎え、豊富な経験と知識を活かした迅速・丁寧な作業によって、検査業務が順調に進んでいきます。一方、タンクローリーの大型化やLPに変わる代替エネルギー化の影響で、LPタンクローリー車両の減少傾向にあり、検査車両台数の伸び悩みに影響していることも見逃せません。

当社としては、運輸部門と検査部門の2本柱を更に強固なものとするべく、KHKの「液化石油ガスタンクローリー容器検査認定」を取得し、民生バルクローリー検査を含め顧客ニーズに沿った体制作りに向け、準備を進めております。会員の皆様方には、当事業所が自社の修理工場と思って気軽に利用いただける体制作りを心がけお待ちしております。今後ともよろしくご依頼申し上げます。

【検査所連絡先】

電話 044-276-1712 (検査所長 山下 信好)

FAX 044-276-1710

楠原輸送株式会社 川崎営業所

当社の神奈川県における高圧ガス取り扱い、川崎タンクローリー輸送協同組合に位置する川崎・扇町車庫に集約されており、ローリー組合には、1977年より加盟し35年を経過しています。

従業員は所長以下職員6名、運転手45名で運営し、車両は移動製造設備として液化アンモニアローリー 15台、液化炭酸トレーラー 3台、液化炭酸ローリー 8台、液化酸素ローリー 1台、液化窒素ローリー 1台、液化アルゴンローリー 1台の計29台。

貯蔵設備として圧縮水素・ヘリウムトレーラー 65台を保有し、その運行のためのトラクター 10台圧縮水素・ヘリウムローダー運搬車4台、ボンベ運搬車6台その他アンモニア水ローリー 2台で構成され合計116台で、関東一円を中心に日々お客様へ配送しております。

主な輸送品として液化アンモニアガスがあります。かつては肥料の生産や冶金工業等で消費されていましたが、現在は火力発電所への納入が大半を占め、東京湾沿岸のほぼ全ての東京電力(株)の火力発電所、東北電力(株)の一部の発電所、共同火力発電所、民間工場の自家火力発電所へ納入しています。

火力発電所では石炭、石油、天然ガス等を燃料に発電し

ていますが、発電の際に発生する燃焼ガスに含まれる光化学スモッグと地球温暖化の原因となる窒素酸化物(Nox)とアンモニアを化学反応させて窒素と水蒸気にして大気放出しており、火力発電を稼働させる上でアンモニアは不可欠な原料となっています。また現在アンモニアは家庭ごみの廃棄プラスチックを原料に生成されており、地球環境の改善にも貢献しています。

当社が高圧ガス輸送に携わって50年を経過しておりますが、大きな事故を起こすことなく、今日までこれたのは歴代の所長及び運転手の努力もありますが、荷主の昭和電工株式会社様、神奈川県防災安全局工業保安課様、(社)神奈川県高圧ガス防災協議会様のご指導の賜物と感謝しております。

